



# 仰木中学校だより



令和7年2月6日発行  
第13号  
生徒数 553名  
HP版



寒さ厳しい中にも、少しずつ春の兆しが見え始める時期  
冬が終わり、万物が少しずつ動き出す月



持ち味発揮

## 2月 如月 「担う」

～自分の責任として引き受け、物事を推し進めていこう！～

■2月には、「**如月**」(きさらぎ)以外に春を感じさせる別名がたくさんあり、その中のひとつに、「**令月**」(れいげつ)という別名があります。全てにおいておめでたい月、何をするにも素晴らしい月という意味の月名です。

■今から約6年前、2019年5月1日に皇太子徳仁親王が天皇に即位し、元号が「平成」から「令和」に改められました。元号はこれまで中国の古典からの出典でしたが、「令和」については、日本最古の歌集『万葉集』(第5巻「梅花の歌」)が出典元であることが大きな話題となりました。

「令和」に決定した際の当時の首相談話には、「令和」に込めた意味が表れていました。それは、「春の訪れを告げる梅の花のように、明日への希望と共に一人ひとりが大きく花を咲かせられる日本でありたいとの願いを込めた」というものでした。今後の日本という国が、一人ひとりが希望を持てる、より良い国になってほしいという願いが、この談話から受け取れます。

仰木中生徒会が、スローガン「**桜梅桃李**」(自分は自分らしく、他人と自分を比較するのではなく、個性を磨き、大輪を咲かせていけばよい。今いる場所で、自分の使命を見つけ、挑戦していくことが大切である。)に込めた思いに通ずるものがありますね。

■1月の学校だよりにも掲載しましたが、2月は **仰木中 Version 「担う」の月**です。

学年や学級で、また生徒会活動や部活動等で、**自分が果たすべき役割は何か**を考え、**進んで引き受け**、最後の大事な仕上げを、**自分の持ち味を生かして、推し進めて**いってほしいと思います。

令和6年度を締めくくるラストチャンスです。**失敗を恐れず、勇気をもって動き出しましょう。**

■2月は、学校としても**春に向けての準備を進める時**となります。**新しい年度の計画を立てたり、前年度の反省を生かして改善策を講じたりする時期**です。2月は一年で一番短い月ですが、充実した月にしていきたいものです。

☞ **トラブルが起きた時は「試されている時」。**すべてのトラブルには意味があり、それに気づいた時が「成長の時」。

### 1月の学校の様子

1月17日(金)～22日(水)  
第55回 大津市特別支援学級・学校作品展  
(大津市歴史博物館にて)

- 7A組の共同作品は、『季節のおりがみ』をテーマにそれぞれの月の行事や花などを調べ、ひとつひとつ丁寧に折りました。
- 書き初めの言葉は、『新年の目標』や『好きな言葉』を自分で選んで書きあげました。
- 他にも、紙コップを使ったダイナミックな竜や技術の授業で製作した木製のイスや本立てを展示しました。
- 共同作品は、現在、1階廊下(7A教室横)に掲示しているので、是非ご覧ください。



1月18日(土)  
2024 第53回 滋賀県アンサンブルコンテスト  
県大会 金管6重奏  
「**あの坂の向こう**」  
**銀賞**

- この作品の作曲者は高校生の頃に部活動でホルンを経験しており、この曲は作曲者がその当時、仲間たちと合奏やアンサンブルを楽しんだ思い出を懐古しながら作曲されました。
- 曲は3つの部分で構成されていて、授業を終えて**心躍る気持ちで練習に励む様子**、練習を離れて**仲間たちとゆったりとした時間を過ごす様子**、本番に向けて練習に熱が入っていく様子をそれぞれ描いています。
- 本番までの道のりを「坂」に例え、「坂の向こう」にある大きな喜びを共に目指す、といった意味を込めて曲名がつけられました。演奏を聴いていると、本当に目の前に坂が見えてきたのが不思議でした。



1月24日(金)～28日(火)  
第61回 大津市技術・家庭科作品展



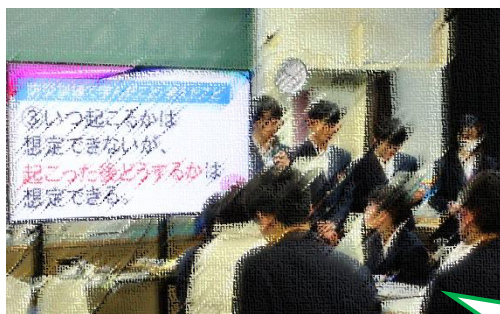
- 家庭分野の作品は、1年生のコンビニバッグ、3年生のミニ絵本が、技術分野の作品は、1年生の本立てや本立ての模型が出品されていました。
- 『ものづくりは人づくり』『ものづくりは心と技を磨く』と言われます。製作過程における一つ一つの作業を丁寧に行わないと、1mmのずれが、最終的に数mmのずれやくらいついて現われてしまいます。集中力や注意力、辛抱強さや粘り強さ、そして妥協しない心が、ものづくりには必要です。

- 学区内の仰木小・仰木の里小・仰木の里東小と学区外小学校の6年生児童のみなさんを対象に開催しました。約1時間あまりの説明を、とても集中して聞いている姿が印象的でした。
- 生徒会執行部による「学校紹介」では、会場の6年生に、考えたり、相談したり、答えたりしてもらう場面を設定するなど、工夫を凝らして説明していました。

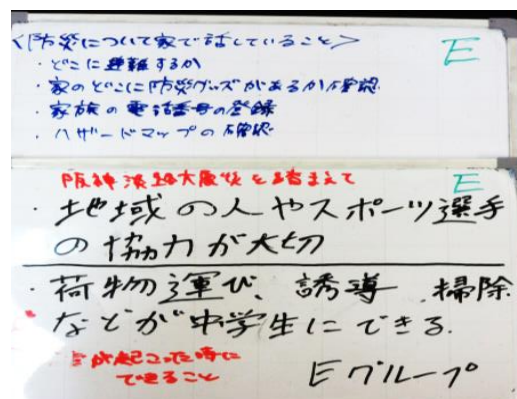
1月28日(火)  
児童向け 入学説明会



1月28日(火)  
第2回 仰木サミット 『私たちが地域とともにできること』  
～安全・安心・快適・幸せなまちづくり～



- 今年度最後となる第2回仰木サミットを入学説明会のあとに開催しました。今回は、第1回のサミットで自主防災会の方から聞いた講話や地域の方との意見交換したことをきっかけに、その後、『地域における防災や共助の取り組み』について各校で活動したことを報告し、交流しました。また、これまでから継続して取り組んでいる『あいさつ運動』や、その他各校で取り組んだこと及び、その成果と課題についても交流しました。
- 開始時間が大幅に遅れてのスタートとなりましたが、地域からも9名の皆さんが参加してくださり、密な話し合いができました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。これからも地道に活動を積み重ね、地域の子どもリーダーとして、仰木のまちづくりに参画していけるような力をつけていってほしいと思っています。



第2回 学校協力者会議・第4回 学校運営協議会 合同会議 開催



1月23日(木)、第2回学校協力者会議・第4回学校運営協議会の合同会議を開催いたしました。ご出席いただきました15名の皆様には、心より感謝申し上げます。

今回は、2学期以降の学校の様子や生徒の様子を、教務からご報告するとともに、令和6年度の学校評価アンケート結果の考察について教頭から説明させていただきました。併せて、学校夢づくりプロジェクトの取り組み状況についても報告いたしました。

合同会議では、短い時間ではありましたが、学校評価アンケート結果をもとに、さまざまなご質問やご意見をいただき、ありがとうございました。

【ご意見・ご質問】 (一部抜粋)

- 学校も、さまざまな行事や催しを地域に案内してもらうと、地域も入りやすいのではないか。かるた大会とか…。
- 地域との連携については、子どもは一人じゃ一歩を踏み出せない、自分から第一歩を踏み出せないと思うので、学校の授業の枠で何らかの動きをとっていかないとできないのではないか。
- 学校評価アンケートでは、教師と保護者と生徒の格差が気になる。
- 親が動くには、子どもが動くこと。子どもが自発的に動かないと…。
- 1～3年生の人権学習について説明してほしい。この学年では、これをおさえないという計画はあるのか。

